

有料老人ホームのランキングに惑わされるな

正しい見方はこれだ!

●講師

(株)Pro-vision 取締役
山中由美
Yumi Yamanaka

国内外の高齢者向け施設を300カ所以上取材、調査。セミナーや情報誌を通して、高齢者施設選びに関する啓蒙活動に取り組む。ファイナンシャルプランナー／福祉住環境コーディネーター／NPO認知症グループホーム協議会監事



マスコミでは「有料老人ホームのランキング特集を組むとその号は売れ行きが良い」といいます。ホーム選びに失敗したくないという思いは誰しも一緒です。ホームの順位付け、と聞けばつい買いいたくなるし、頼りたくなるものです。でも、そのランキング特集の内容を鵜呑みにしては絶対にだめ、というのが本日のセミナーの主旨です。

現在、東京、神奈川、千葉、埼玉の4都県で987件(08年4月現在)の有料老人ホームがあります。これだけのホームをすべて訪問してランキングをつけることは困難です。従って、ランキング情報の大半が、ホームから提出された資料をもとに画一的な数値化を行ない、数

現場取材なしの ランキング

去る5月30日、横浜駅から5分の横浜そごう9階 新都市ホールにて、「シニアらいつ講座」が開催されました。当日は小雨の中を200名近い方が参加され、山中由美氏の4時間にわたる話に熱心に耳を傾けておられました。残念ながら参加できなかった方のために、セミナー第一部の内容を抜粋してお伝えしたいと思います。

少ない指標だけで順位付けを行なっています。ところが、その指標に問題があることが多いのです。

その点数化は 正しい?

たとえば、あるランキングでは、次のような項目を点数化しています。

入居定員数 ÷ 看護、介護にあたる
常勤職員数

実際の入居者数ではなく、入居定員数を用いているのです。有料老人ホームには要介護の方向けの「介護型ホーム」と、自立の方向けの「自立型ホーム」があります。介護型と自立型では定員数の決め方が異なることが多く、単純にこの計算式を当てはめると介護型ホー